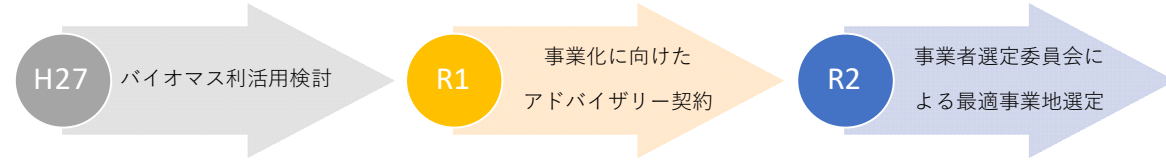


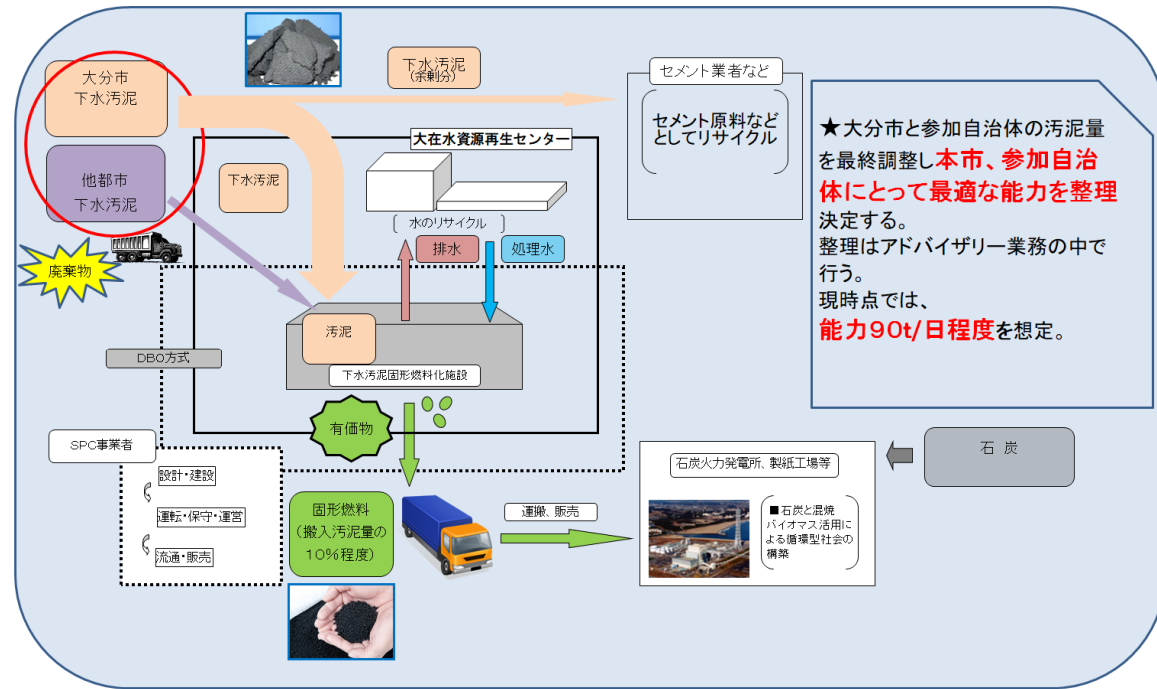
# 下水汚泥燃料化事業について

## 1. 事業概要

### ○検討経緯



### ○事業スキーム



### ○事業の広域化・共同化 (平成 30 年 1 月、国(総務、国交、農水、環境省)広域化・共同化推進の通知)

H31.2 より県内市町村に協議開始し、現在下記のとおり参画が予定されている

#### ○各自治体が搬入する下水汚泥量 (想定)

	自治体名	下水汚泥量 (t/日)	運搬頻度
1	別府市	7	5~6/週×8 t/回
2	佐伯市	2	2~3回/週×6 t/回
3	A自治体	1	1回/月×6 t/回
4	B自治体	1	1回/月×6 t/回
5	C自治体	1	未定
6	D自治体	1	未定
7	E自治体	1	未定
	計	14	

## 2. 事業の費用対効果

### ○現状と課題

- 下水道整備促進に伴い汚泥量の増加とその処分費

令和元年について平成 25 年に比べ、運搬費は 100 百万円から 21 百万円増の 121 百万円  
処分費は 331 百万円から 34 百万円増の 365 百万円

- 今後の維持管理費の増加を抑制することが課題

### ○燃料化事業導入の効果

能力 90 t / 日規模で算定

$$B/C = 1.0$$

国の補助金・財政措置を考慮しない場合 (全額市負担額)

B/C	1.0
感度分析	1.13~0.92

国の補助金・財政措置を考慮した場合 (市の実質負担額)

B/C	1.3
感度分析	1.47~1.20